

○豊橋エコテクノレース・WEM in 豊橋&エコハイ

5月30日・31日、豊橋市の万場調整池において、豊橋エコテクノレース・WEM（ワールド・エコノ・ムーブ）in 豊橋&エコハイが開催されました。

エコテクノレースとは、与えられた時間の中で決められたエネルギー量（蓄電池による電気エネルギー）を使い、どれだけを走ることが出来るか走行距離を競うものです。



疾走するエコカー

エコハイ（高等学校エコカーレース総合大会）三・四輪車部門では、地元の愛知県の高校はもちろん、大阪府、三重県、長野県、静岡県の高校から27校の参加があり、1時間で1周約2.7kmの調整池の周回コースをどれだけ多く走行できるかを競いました。

優勝した高校は1時間で11周しており、これは約30km/hに相当することが分かりました。自動車の関連産業の多い東海エリアならではのイベントだと感じました。

○渡し場かもめ会による海岸清掃・身近な水環境全国一斉調査

6月7日、高浜市の特別養護老人ホーム安立荘前の海岸で、渡し場かもめ会による清掃活動が行われました。渡し場かもめ会は、1956年に衣浦大橋が開通するまで、生活物資、人的交流手段として重要な役割を果たしていた渡し船「藤江の渡し」を後生に語り継ぐ取り組みを行っている団体で、海を大切にすることを育ようと、海岸清掃や公園の草刈りなどを行っています。今回は41名が参加、軽トラック2台分のゴミが回収されました。清掃活動は、4～11月の第1日曜日、朝8時から1時間程度行われており、その後、身近な水環境の全国一斉調査が実施されました。

この調査は、平成16年から行われており、毎年、世界環境デー（6月5日）に最も近い日曜日を中心に、市民団体と国土交通省が協働して簡単なキットを使い、気温、水温、酸素量などの測定を行い、その結果を元に全国水環境マップを作成するものです。今回は、全国で741、愛知県では58の参加団体があり、調査結果は例年12月に公表されます。

全国水環境マップ実行委員会ホームページ <http://www.japan-mizuman.org/index.htm>



水環境の調査の様子

お知らせ

アクアフェスタ2009

7月26日（日）9時～13時

7月26日（日）、豊橋市上下水道局及び豊川周辺にて「アクアフェスタ2009」が開催されます。今年のイベントは、クイズラリー、アクアO×クイズ、リバーウォーク豊川、ニジマスつかみどり、簡易水質測定、三河湾浄化コーナー、等です。参加には事前申し込みも必要なものもありますので、詳しくは、広報とよはし7月1日号、もしくは、下記の問い合わせ先まで。

イベント場所: 豊橋市上下水道局及び豊川周辺
（右記の地図参照）

問い合わせ先: 豊橋市上下水道局
給排水課 担当: 内藤
(0532-51-2726)

※イベントにより開催時間が異なります。
※天候により内容の変更または中止の場合があります。
※なるべく公共交通機関をご利用ください。
豊橋駅から豊橋鉄道市内線にて約10分の東八町で降りていただき、そこから北へ徒歩約10分です。

★ ホームページで、Mini-WANバックナンバーをご覧いただけます。 <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp> ★

2009年 6月号 Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行 (No.28)

Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

■巻頭コラム

■最近のトピックス

- リサイクル利用促進賞の受賞 ○潮干狩りと豊川河口干潟の野鳥・植物観察
- 女性による観光サミット2009 in がまごおり開催 ○初夏の530運動
- 春の刈川干潟自然観察会 ○里海の森づくり～海の植林「アマモ苗移植活動」～
- 幅豆小学校5年生 三河湾見学 ○豊橋エコテクノレース・WEM in 豊橋&エコハイ
- 渡し場かもめ会による海岸清掃・身近な水環境全国一斉調査

■お知らせ

○アクアフェスタ2009

☆CONTENTS☆



☆巻頭コラム☆

三河港湾事務所長 塩田 昌弘



6月7日、ライフポート豊橋で行われた、豊橋ウインドアンサンブルの定期演奏会に行きました。知人が2人所属していることもあり、大変楽しみにしていました。

練習は週3日で、社会人が中心と聞いていましたので、全員そろっての十分な練習も難しいのではと思っていましたが、アマチュアとは思えないレベルの演奏。驚きました。

今回は、ロシア音楽特集とのことで、ロシアというとチャイコフスキーとかラフマニノフとか重厚な音楽のイメージでしたが、当日の演目はマーチ、ワルツ、映画音楽など、軽やかで楽しい雰囲気曲が多く、会場は和やかなムードに包まれていました。

正直、プロが演奏するCDを聴くより素晴らしいと感じました。生演奏なので、体全体で感じるこ



ができるからでしょうか。最近では、インターネットの発達などで、外出しなくても映画、買い物、果ては対局マージャンまで楽しめる時代ですが、現場に行き、画像でなく実物を見たり聞いたりすることは非常に大切なことではないかと感じました。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局 三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市の11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>
E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの「海とみなとの相談窓口」につながります。

☆最近のトピックス☆



○リサイクル利用促進賞の受賞

5月8日、特定非営利活動法人リサイクルソリューションが主催するリサイクル利用促進賞授賞式が東京国際フォーラムにて行われました。

同法人は、リサイクル技術等の調査、啓蒙、普及を行い、広く一般に利益の増進に寄与する事を目的として設立されており、本賞はその趣旨に照らして特に優秀な成果を収めた者を表彰対象としています。

今回、当事務所が行ったシーブルー事業、その後のモニタリング調査などの取り組みが認められ受賞しました。シーブルー事業とは、中山水道航路の浚渫で発生した良質な砂を有効活用し、三河湾内に干潟・浅場を造成したり、覆砂することにより汚染物質の海中への溶出を抑制することによって、水底質の改善を目指して行われた事業です。今後も三河湾の環境改善につながる事業を実施できるよう努力して参ります。

○潮干狩りと豊川河口干潟の野鳥・植物観察



干潟で生物を観察する参加者の皆さんドカリなどを確認しました。

更に潮干狩りをしたのですが、アサリは稚貝ばかりで食べられるサイズのものほとんど取れませんでした。あと2週間もすればちょうど良いサイズのアサリが取れ出すと思いますので、今後も状況を観察していきたいと思います。

○「女性による観光サミット2009 in がまごおり」開催

5月18日、蒲郡プリンスホテルにおいて、蒲郡市観光協会主催により女性の視点で観光について意見交換を行うサミットが開催されました。本サミットは、特別講演とパネルディスカッションで構成されており、特別講演では、本保芳明観光庁長官より「日本政府と観光戦略」と題した講演が行われ、これまでの観光行政の問題点と今後の観光施策のあり方など多岐に渡る話を聞くことが出来ました。

後半に行われたパネルディスカッションは、『「海からの贈り物」女性の視点による広域連携』と題し、コーディネーターにミックインターナショナル(株)代表の九鬼綾子さん、パネリストとして、エコツアー海島遊民くらぶ代表の江崎貴久さん、知多ソフィア観光ネットワーク代表の山本勝子さん、くちこみクラブ代表の伊東成子さん、蒲郡市観光課長の荒島祐子さんの4人による活発な意見交換が行われ、女性が観光に関わることの重要性など多くの意見が交わされていました。



パネルディスカッションの様子

○初夏の530運動



きれいな街づくりのために！

5月27日、お昼休みの時間を利用して、当事務所周辺や付近の公園の清掃活動を行いました。草と草の間などの目につきにくいところにゴミがたくさんあり、530運動の必要性を感じました。集めたゴミには、いろいろな種類のものがあり分別するのも大変でした。リサイクルできるものとできないものをしっかり分けて、再利用を図り、地球資源を有効に活用することは、とても大切なことだと改めて思いました。自分達のまちは自分たちできれいにすることを心がけて、まちなみも美しく築きあげていきましょう



授与式の様子

○春の汐川干潟自然観察会

5月21日、豊橋市と田原市の共催による干潟自然観察会が行われ、豊橋市と田原市に住んでいる親子31名の参加者がありました。汐川干潟は三河湾の南東部に位置し、干潟の規模も本州で最大規模であり、渡り鳥が多く飛来することでも知られています。

観察会はちょうど干潮になる時間に合わせて行なわれ、みるみるうちに広大な干潟が現れてきました。

最初に、この干潟にいる生物をエサとするアオサギ、ダイサギ、



干潮時の汐川干潟

オオソリシギなどを海岸堤防の上から観察しました。その後干潟に降りて、干潟に住む動物や植物などを数字に見立てたビンゴカードを使って、ゲーム感覚で干潟の観察を実施しました。海岸堤防付近、河川が常に流れている場所、アシ原などの植物が生えている場所それぞれで観察できる生物が違っており、1時間足らずの干潟観察でしたが、干潟が多様な生物を育てていることが実感できました。



真剣なまなざしで観察する子供達

○里海の森づくり～海の植林「アマモ苗移植活動」～

5月23日、愛知県の主催により、蒲郡市西浦町(龍田海岸)において、約30人の一般参加者を集めて、アマモ苗の移植活動が行われました。

来年秋にCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)が開催されるにあたり、愛知県では生物多様性の保全向上をめざした「里地里山里海生物多様性啓発事業」を実施しています。今回のアマモ苗の移植は、その事業の一環として行われたもので、里海が有する生物多様性維持や、水産資源増大等の機能、重要性について広く県民に知ってもらうためのものです。



アマモ

当日は、絶好の天気恵まれ、愛知県水産試験場職員による「藻場に関する講習会」や、浅場で生物の観察、アマモ苗移植の体験が行われました。



アマモ移植の様子

浅場で生物観察はメバル・ボラなどの小魚が観察でき、子供たちは「捕まえた！」と歓声を上げていました。

また、アマモの移植作業は約5本の苗を泥と一緒に鉢に入れて、できるだけ沖合の海底に移植しました。順調に育ち、海を浄化、小魚の育成の場になって欲しいですね。

※海産の種子植物。ワカメ、コンブなどの「海藻」と区別して「海草」と呼ばれている。沿岸の水深1～数メートルの砂泥域に繁茂。水生生物の産卵場、成育場となる。窒素やリンを吸収して水質を浄化するとともに、光合成により二酸化炭素を吸収し、酸素を供給する。

○幡豆小学校5年生 三河湾見学

5月25日、幡豆小学校の5年生75名が当事務所の港湾業務艇「しおさい」に乗船して、三河湾の見学をしました。

今回の見学では、自分たちが暮らす町や近くの前島、沖島などを海上から眺め、いつもとは違って見える風景にみんな興奮した様子でした。船を下りたあとは自分たちの町の海で獲れたハマグリやマテガイなど様々な種類の貝類を実際に見て、触って興味深そうに観察していました。



私の家はどのあたりかな？



いろいろな貝類に興味津々

また、海がどのようにして汚れるのかの説明をすると、きれいな海を守るために自分たちができることは何か一生懸命考えていました。